



診断シリーズ①

脳梗塞の基礎知識

私がお伝えします



社会医療法人ペガサス 馬場記念病院
脳神経外科・副院長

魏 秀復

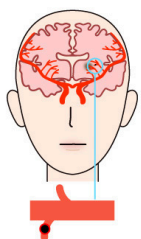
脳梗塞とは、脳の血管が詰まり血流が途絶えることで脳細胞が損傷する病気です。発症すると手足の麻痺や言葉の障害などが起こる可能性があります。早期発見と治療が重要です。本資料では、脳梗塞の仕組みや症状、リスクについて詳しく解説します。

脳梗塞とは？

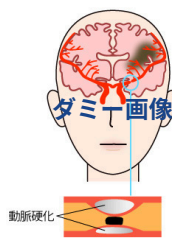
脳梗塞は、脳の血管が動脈硬化や血栓によって詰まり、脳細胞が酸素不足で壊死する病気です。主な原因は、高血圧、糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病や、不整脈による血栓の飛散です。

脳梗塞には主に3つのタイプがあります。細い血管が詰まる「ラクナ梗塞」、動脈硬化が原因の「アテローム血栓性脳梗塞」、心臓から血栓が飛ぶ「心原性脳塞栓症」です。いずれも血流が途絶えることで脳の機能が低下し、重篤な後遺症を残す可能性があります。

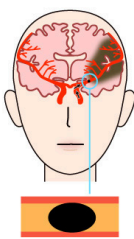
ラクナ梗塞



アテローム血栓性脳梗塞



心原性脳塞栓症



脳梗塞の初期症状と危険サイン

脳梗塞は突然発症し、時間が経つにつれて症状が悪化するため、早期発見が重要です。主な初期症状には、片側の顔や手足の麻痺、言葉のもつれや理解しづらさ、視野の一部が見えにくくなる、めまいやふらつき、意識がもうろうとするなどがあります。特に、片側の手足に力が入らなくなったり、顔の片側が垂れ下がる症状が現れた場合は、ただちに医療機関を受診する必要があります。(FASTチェックを参照)



Column

早期発見が命を救う！「FAST」チェック

顔の片側が垂れる（Face）、腕が上がらない（Arm）、言葉が出にくい（Speech）。この症状が出たら、すぐに救急車を呼びましょう（Time）

Face

顔の麻痺



Arm

腕の麻痺



Speech

言語障害



Time

発症時間



(2025.3.19)

画像提供：PIXTA

